



Harmonic Drive Systems Inc.

株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ

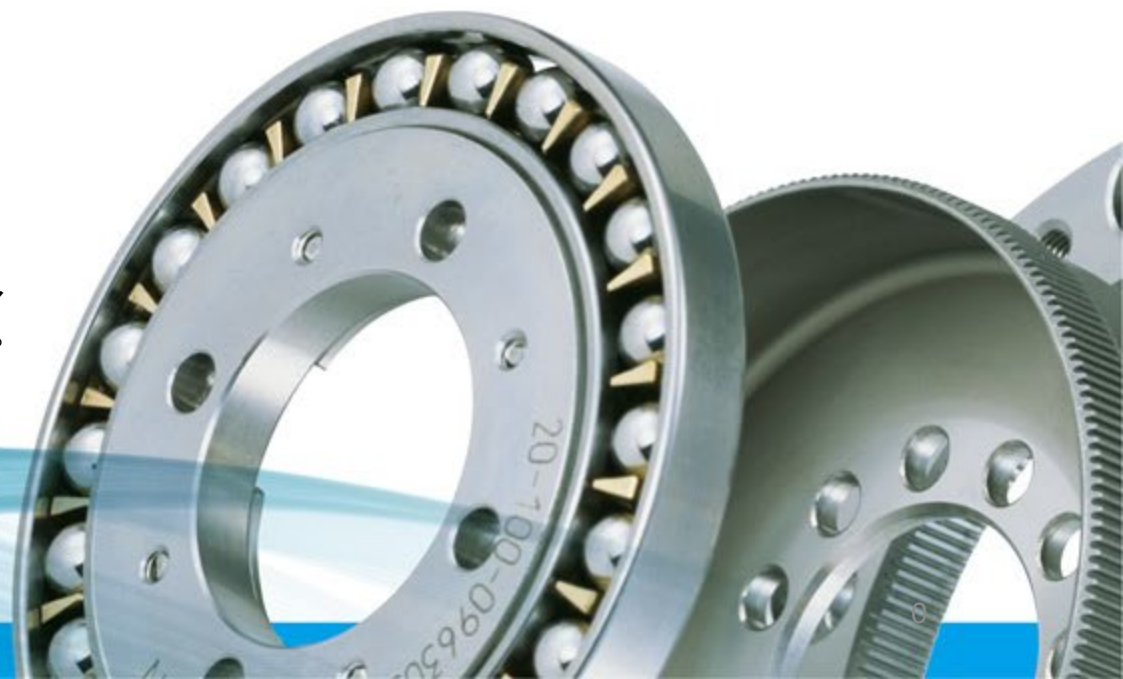
株式会社 **ハーモニック・ドライブ・システムズ**

2025年3月期

第2四半期(中間期)決算説明資料

2024年11月19日

このプレゼンテーション資料には、2024年11月19日現在の将来に関する予想が含まれております。この予想は当社経営者の判断に基づくものであり、事業環境の変化等のリスクや不確定要因を含んでおります。そのため、実際の業績は、これら見通しと大きく異なる結果となる場合があることをご了承願います。



2025年3月期 第2四半期(中間期) 決算の概況

第2四半期(中間期) 連結業績(対従来予想比)

単位:百万円

	従来予想(5月13日発表)		25年3月期第2四半期(中間期)		対従来予想比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	27,000	100.0	26,559	100.0	▲440	▲1.6
営業利益	100	0.4	▲637	—	▲737	—
経常利益	100	0.4	▲828	—	▲928	—
中間純利益	100	0.4	▲850	—	▲950	—
EPS(円)	1.05	—	▲8.95	—	▲10.00	—

※中間純利益は、親会社株主に帰属する中間純利益の額を表示しております。

第2四半期(中間期) 連結業績(対前年同期比)

単位:百万円

	24年3月期第2四半期(中間期)		25年3月期第2四半期(中間期)		対前年同期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	28,765	100.0	26,559	100.0	▲2,205	▲7.7
営業利益	872	3.0	▲637	—	▲1,510	—
経常利益	1,163	4.0	▲828	—	▲1,992	—
中間純利益	313	1.1	▲850	—	▲1,163	—
EPS(円)	3.29	—	▲8.95	—	▲12.24	—
設備投資額	1,760	—	2,403	—	642	36.5
減価償却費	4,946	—	3,936	—	▲1,010	▲20.4
研究開発費	1,659	—	1,936	—	277	16.7

※中間純利益は、親会社株主に帰属する中間純利益の額を表示しております。

※減価償却費は有形固定資産、無形固定資産(のれん含む)に係る償却費の合計額を表示しております。

第2四半期(中間期) 主要グループ会社の業績

単位:百万円

	出資比率	売上高		営業利益	
		金額	対前期増減率(%)	金額	対前期増減率(%)
※2 米国子会社(連結) エイチ・ディ・システムズ (ハーモニック・ドライブ・エルエルシー)	100% (100%)	5,790	▲13.2	254	▲71.4
(株)ハーモニック・エイディ	100%	978	▲1.5	▲13	—
(株)ハーモニックプレシジョン	100%	1,512	51.4	▲333	—
※3 哈默纳科(上海)商贸有限公司 (中国)	100%	3,006	32.3	332	17.3
※4 ハーモニック・ドライブ・エスイー (ドイツ)	100%	8,152	▲0.7	254	▲74.3

※1 海外子会社の決算日は12月31日です。

※2 為替レート 2023年1月~6月:1US\$ = 134.85円

2024年1月~6月:1US\$ = 152.25円

※3 為替レート 2023年1月~6月:1元 = 19.45円

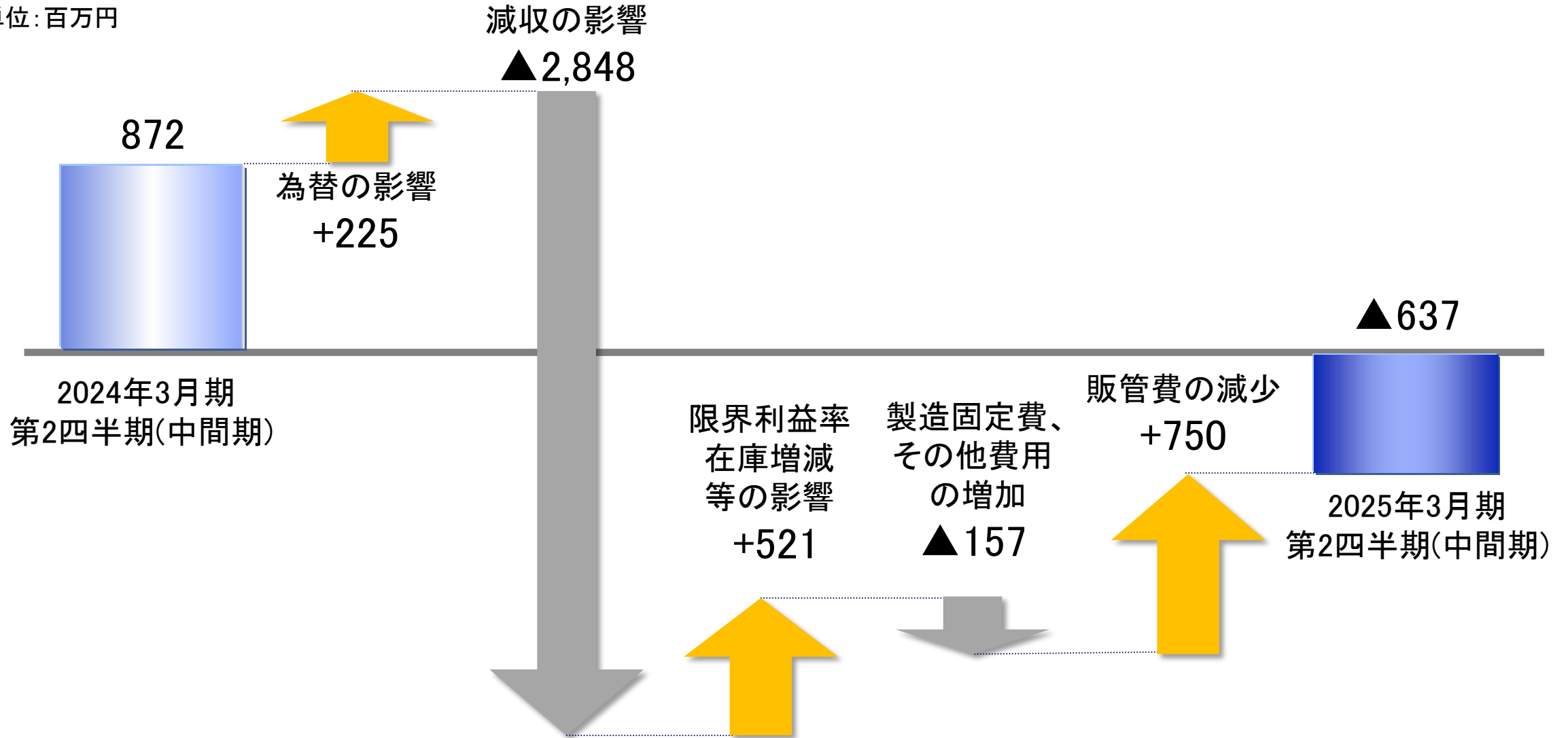
2024年1月~6月:1元 = 21.05円

※4 為替レート 2023年1月~6月:1€ = 145.79円

2024年1月~6月:1€ = 164.60円

第2四半期(中間期) 連結営業利益 対前年同期比増減要因

単位:百万円



第2四半期(中間期) 単体業績(対前年同期比)

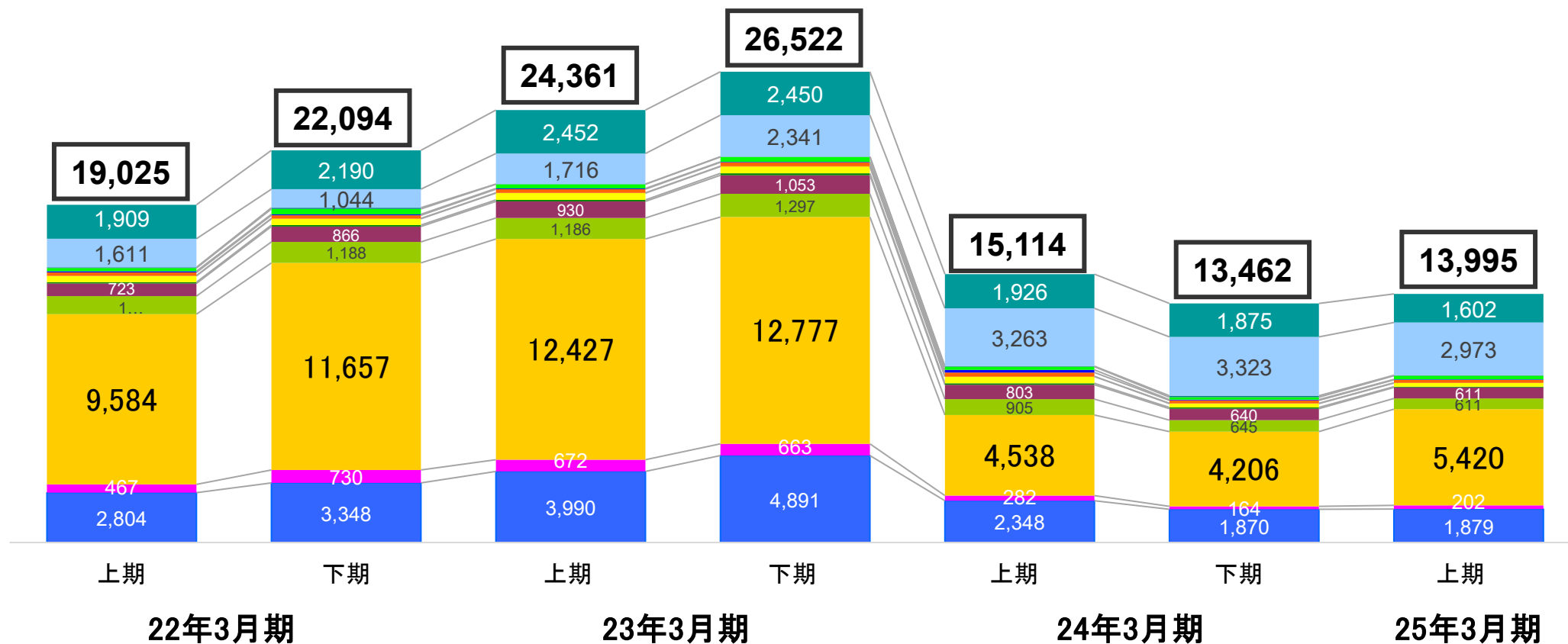
単位:百万円

	24年3月期第2四半期(中間期)		25年3月期第2四半期(中間期)		対前年同期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	15,114	100.0	13,995	100.0	▲1,119	▲7.4
営業利益	503	3.3	▲727	—	▲1,231	—
経常利益	3,299	21.8	▲699	—	▲3,999	—
中間純利益	3,028	20.0	▲701	—	▲3,729	—
EPS(円)	31.86	—	▲7.38	—	▲39.24	—
設備投資額	959	—	1,343	—	383	40.0
減価償却費	2,228	—	2,175	—	▲53	▲2.4
研究開発費	1,087	—	1,186	—	98	9.1

単体用途別売上高

単位：百万円

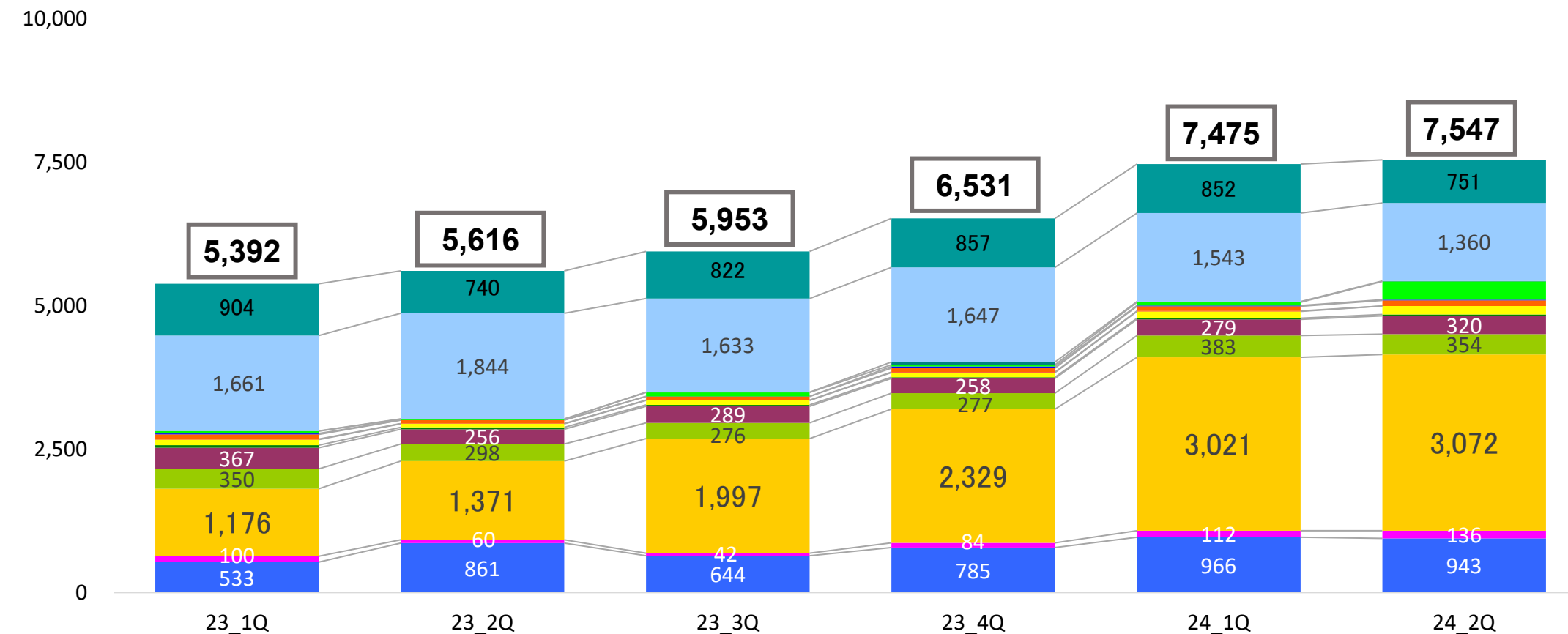
30,000
27,500
25,000
22,500
20,000
17,500
15,000
12,500
10,000
7,500
5,000
2,500
0



- 半導体製造装置
- FPD製造装置
- 産業用ロボット
- モーター向けギアヘッド
- 金属工作機械
- 印刷紙工機械
- 光学機器
- 荷役運搬機械
- 計測試験機器
- 石油掘削装置
- 医療機器
- 航空・宇宙
- 車載
- その他

単体用途別受注高【四半期】

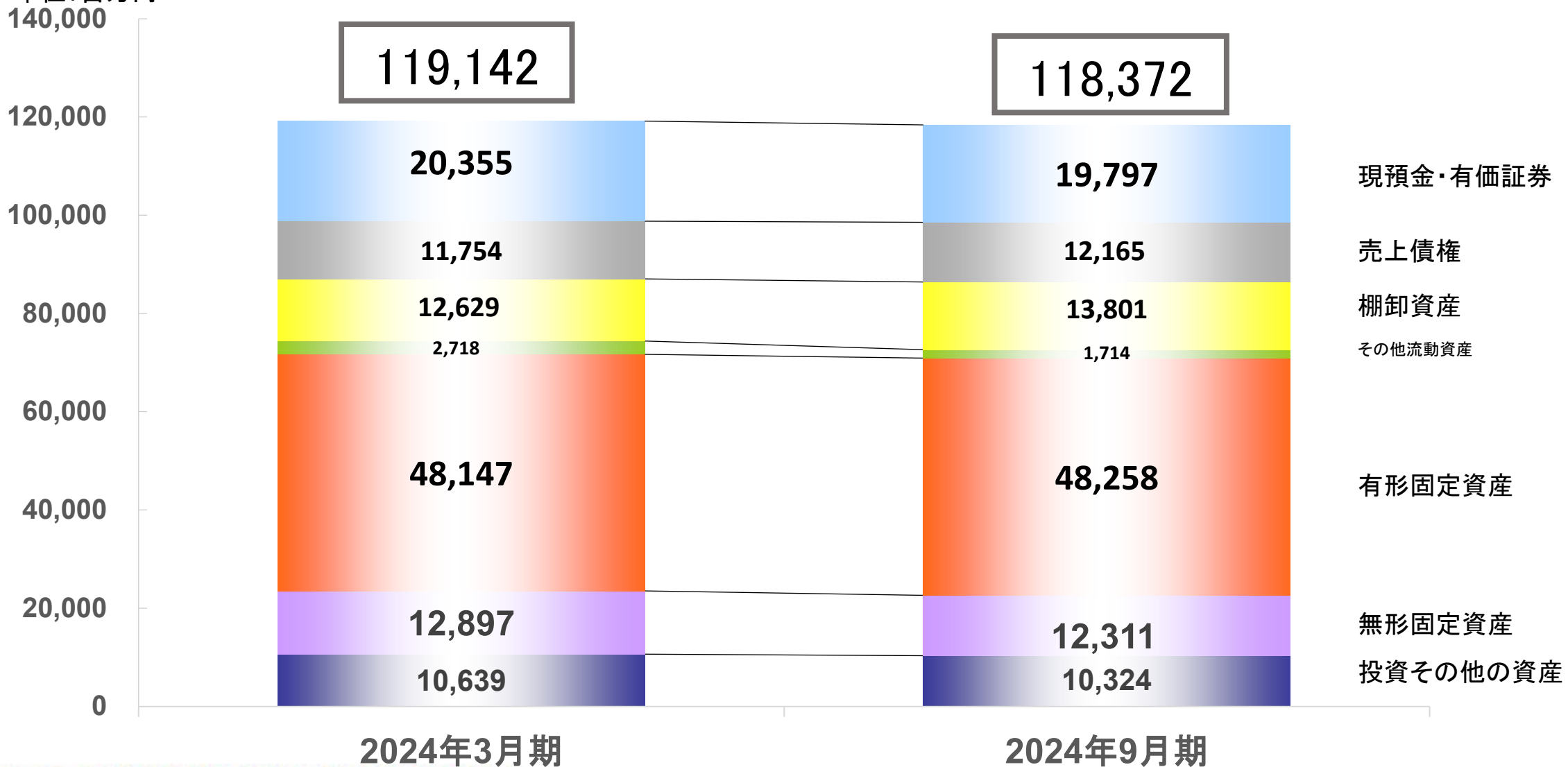
単位:百万円



- 半導体製造装置
- FPD製造装置
- 産業用ロボット
- モーター向けギアヘッド
- 金属工作機械
- 印刷紙工機械
- 光学機器
- 荷役運搬機械
- 計測試験機器
- 石油掘削装置
- 医療機器
- 航空・宇宙
- 車載
- その他

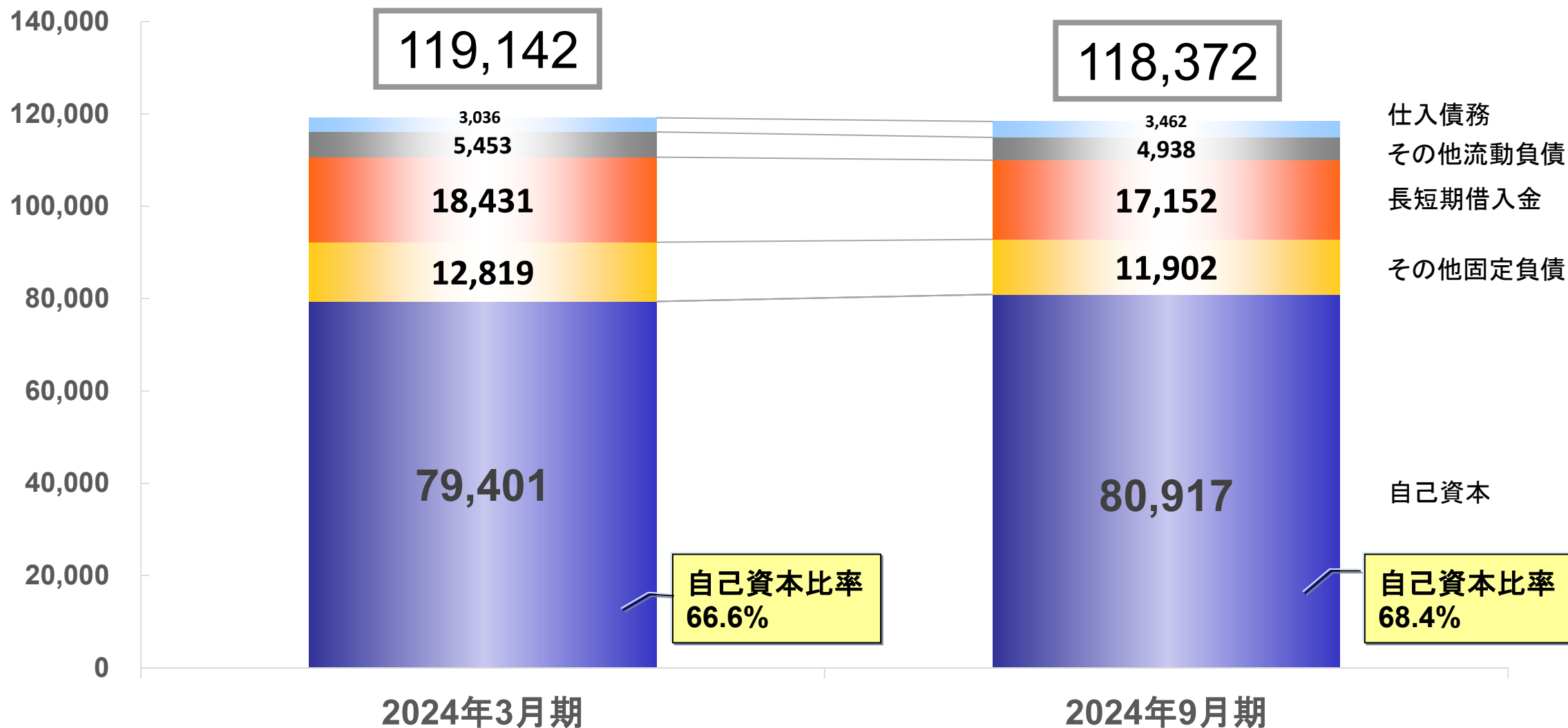
連結資産の状況

単位: 百万円



連結負債純資産の状況

単位: 百万円



連結キャッシュ・フローの状況

単位:百万円

	2024年3月期 第2四半期(中間期)	2025年3月期 第2四半期(中間期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,246	3,161
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲4,379	▲3,501
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲5,164	▲2,600
換算差額	362	1,253
現金及び現金同等物の増減額(▲は減少)	▲936	▲1,686
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,985	17,254

今期の業績予想

通期連結業績予想の修正

【対従来予想比】

単位：百万円

	従来予想(5月13日発表)		今回修正予想(11月12日発表)		対従来予想比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	58,500	100.0	54,000	100.0	▲4,500	▲7.7
営業利益	2,700	4.6	▲400	—	▲3,100	—
経常利益	2,700	4.6	▲500	—	▲3,200	—
当期純利益	2,000	3.4	▲400	—	▲2,400	—
EPS (円)	21.06	—	▲4.21	—	▲25.27	—

※25年3月期(予想)の前提為替レート： 1US\$ = ¥148.50 1元 = ¥20.50 1€ = ¥160.50

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益の額を表示しております。

修正理由

- ◆ 下半期の事業環境は、主に日本・アジア地域における受注額が増加していくものと見込んでいるものの、当社グループ製品の主要用途である産業用ロボット、半導体製造装置市場の回復や立ち上がりは期初の想定に比べると緩やかであることを考慮し、売上高見通しを下方修正
- ◆ 利益面は、主に売上高を下方修正することに伴い、下方修正

通期単体業績予想の修正

【対従来予想比】

単位：百万円

	従来予想(5月13日発表)		今回修正予想(11月12日発表)		対従来予想比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	34,000	100.0	30,000	100.0	▲4,000	▲11.8
営業利益	600	1.8	▲700	—	▲1,300	—
経常利益	600	1.8	▲750	—	▲1,350	—
当期純利益	450	1.3	▲500	—	▲950	—
EPS (円)	4.74	—	▲5.26	—	▲10.00	—

※25年3月期(予想)の前提為替レート： 1US\$ = ¥148.50 1元 = ¥20.50 1€ = ¥160.50

修正理由

- ◆ 連結と同様(前ページ参照)

2025年3月期 連結業績予想

単位:百万円

	24年3月期		25年3月期(予想)		対前期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	55,796	100.0	54,000	100.0	▲1,796	▲3.2
営業利益	124	0.2	▲400	—	▲524	—
経常利益	570	1.0	▲500	—	▲1,070	—
当期純利益	▲24,806	—	▲400	—	24,406	—
EPS (円)	▲261.00	—	▲4.21	—	256.79	—
設備投資額	4,955	—	7,200	—	2,244	45.3
減価償却費	10,362	—	8,100	—	▲2,262	▲21.8
研究開発費	3,613	—	3,700	—	86	2.4

※25年3月期(予想)の前提為替レート: 1US\$ = ¥148.50 1元 = ¥20.50 1€ = ¥160.50

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益の額を表示しております。

※減価償却費は有形固定資産、無形固定資産(のれん含む)に係る償却費の合計額を表示しております。

2025年3月期 主要グループ会社の業績予想

単位:百万円

	出資比率	売上高		営業利益	
		金額	対前期 増減率(%)	金額	対前期 増減率(%)
※2 米国子会社(連結) エイチ・ディ・システムズ (ハーモニック・ドライブ・エルエルシー)	100% (100%)	11,600	▲12.8	800	▲54.1
(株)ハーモニック・エイディ	100%	2,000	4.0	▲30	—
(株)ハーモニックプレシジョン	100%	2,900	37.6	▲550	—
※3 哈默纳科(上海)商贸有限公司 (中国)	100%	5,500	28.0	450	6.5
※4 ハーモニック・ドライブ・エスイー (ドイツ)	100%	16,300	▲2.6	600	▲69.8

※1 海外子会社及び海外関連会社の決算日は12月31日です。

※2 為替レート 2023/12期:1US\$ =140.56円 2024/12期予想:1US\$ =148.50円

※3 為替レート 2023/12期:1元 =19.82円 2024/12期予想:1元 =20.50円

※4 為替レート 2023/12期:1€ =152.00円 2024/12期予想:1€ =160.50円

2025年3月期 単体業績予想

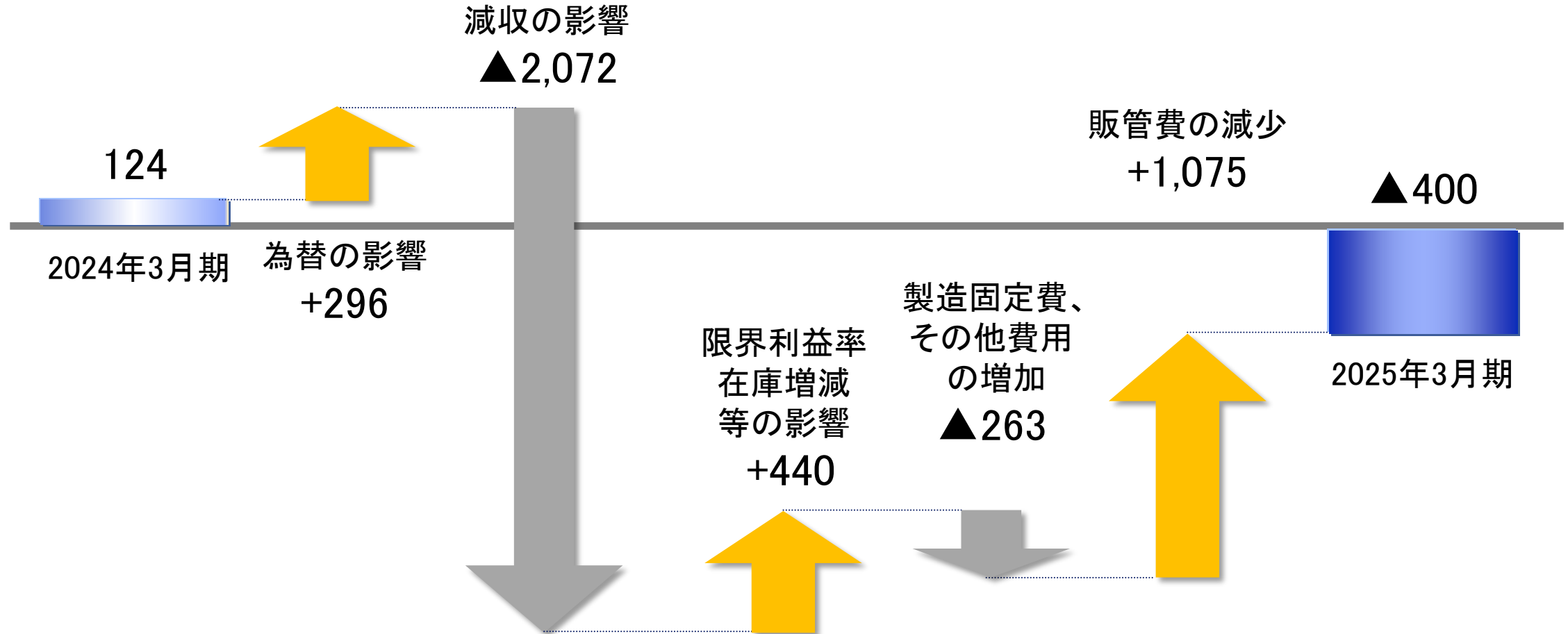
単位：百万円

	24年3月期		25年3月期(予想)		対前期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	28,577	100.0	30,000	100.0	1,422	5.0
営業利益	▲542	—	▲700	—	▲157	—
経常利益	2,288	8.0	▲750	—	▲3,038	—
当期純利益	▲18,460	—	▲500	—	17,960	—
EPS (円)	▲194.23	—	▲5.26	—	188.97	—
設備投資額	3,275	—	4,900	—	1,624	49.6
減価償却費	4,761	—	4,500	—	▲261	▲5.5
研究開発費	2,327	—	2,300	—	▲27	▲1.2

※25年3月期(予想)の前提為替レート：1US\$ = ¥148.50 1元 = ¥20.50 1€ = ¥160.50

2025年3月期 連結営業利益 対前期比増減要因予想

単位：百万円



今後の展望

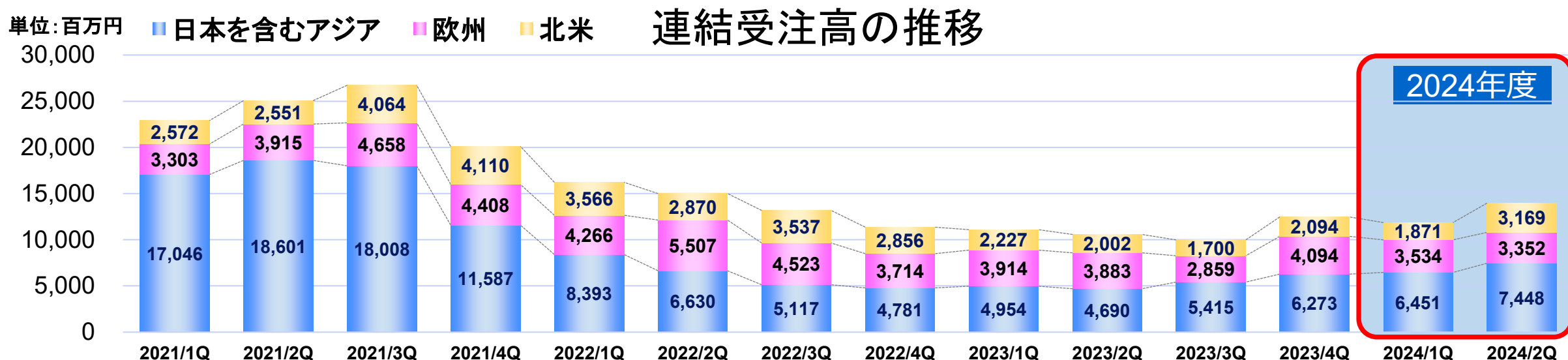
1. 上期の需要動向振り返り

1-1. 連結 地域別の受注状況

北米 2Qにおいて一部顧客からの一括受注があったものの、半導体関連顧客の在庫調整は継続

欧州 欧州経済の停滞はあるものの受注は底堅く推移

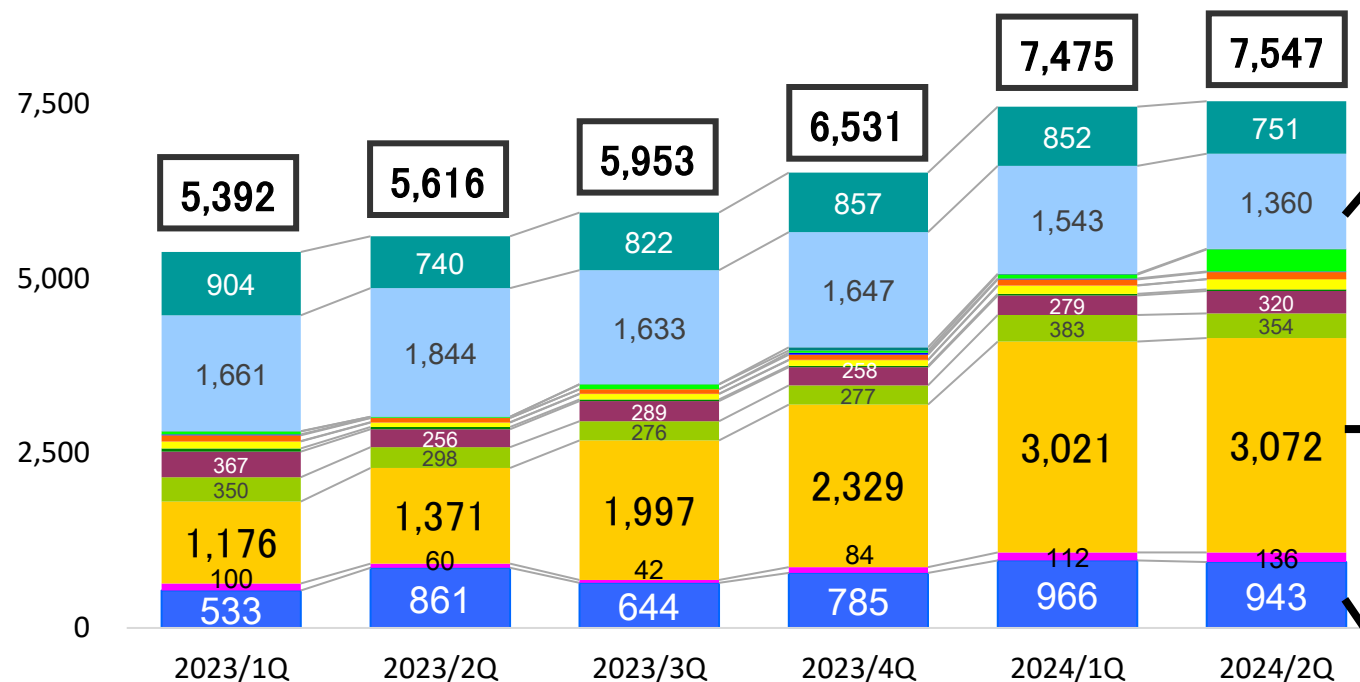
日本を含むアジア 顧客における当社製品の在庫適正化は着実に進むも、中国・欧州のエンドマーケットの需要低迷により、受注の回復スピードが期初想定に対しスロー



1-2. 単体用途別受注状況

単位:百万円

単体用途別受注高の推移



2024年度上期状況

車載

- ・日系完成車メーカーの中国市場における販売不振により減少

産業用ロボット

- ・新規顧客案件が受注増に貢献
- ・既存顧客向けの在庫適正化は着実に進捗するも回復は想定以上に緩やか
- ・中国ローカルロボットメーカーのハイエンド志向拡大が受注増加に寄与

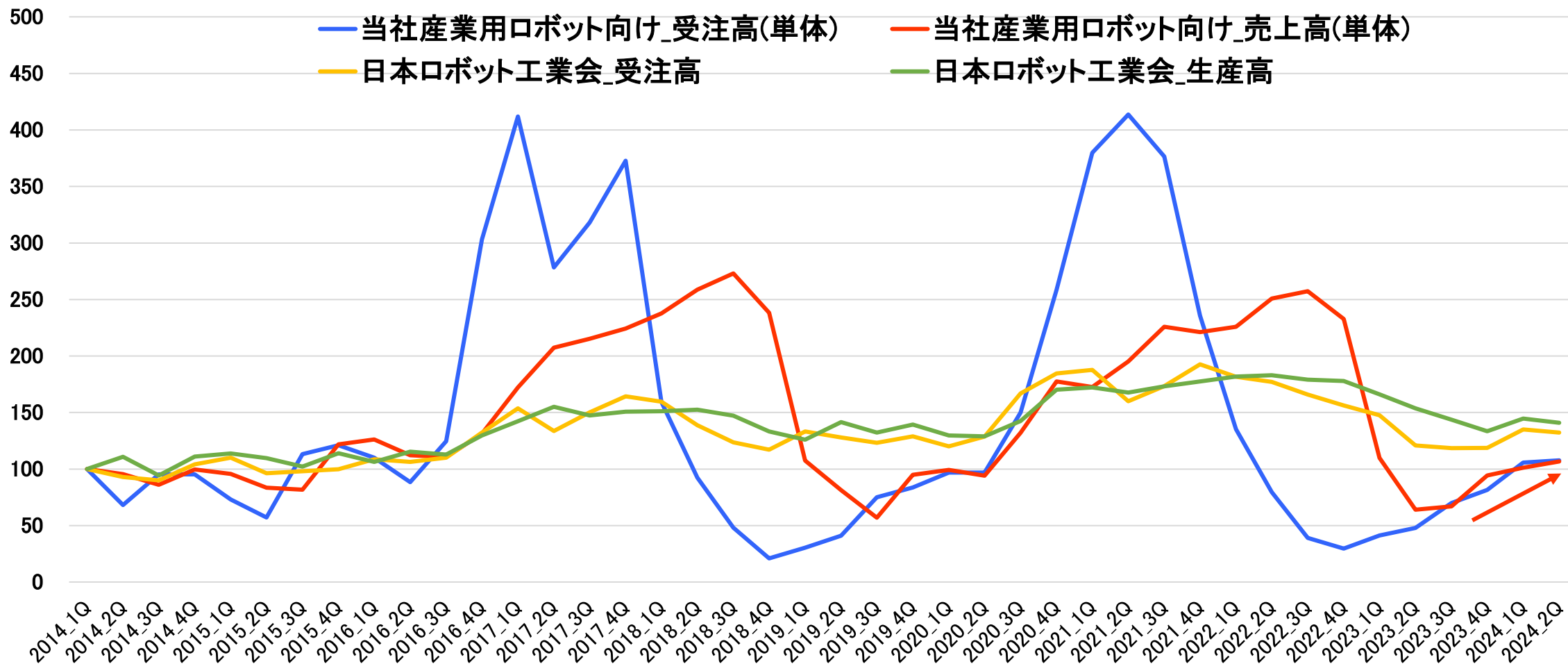
半導体製造装置

- ・AI向けが需要をけん引
- ・1Qで回復傾向が強まったものの、その後は踊り場状態
- ・回復は想定に対し緩やか(遅れ?)

1-3. 当社受注高・売上高とロボット工業会受注高・生産高

2014年1Q=100とした時の
四半期推移

当社受注高・売上高は緩やかに上昇

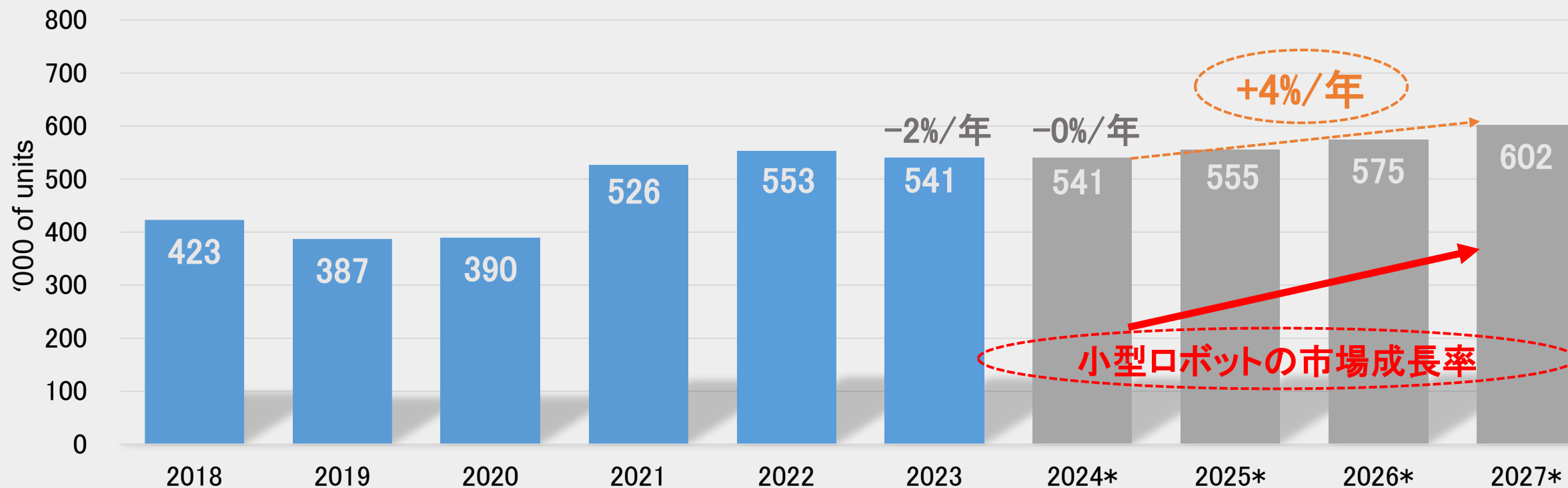


2. 今後の動向

2-1. 産業用ロボット市場

- ・産業用ロボット市場の成長率:年率4%
- ・小型ロボットの市場成長率は産業用ロボットの成長率を上回るという当社想定は変わらず

Annual installations of industrial robots 2018 -2023 and 2024* - 2027*



Source : IFR World Robotics 2024を基に当社作成

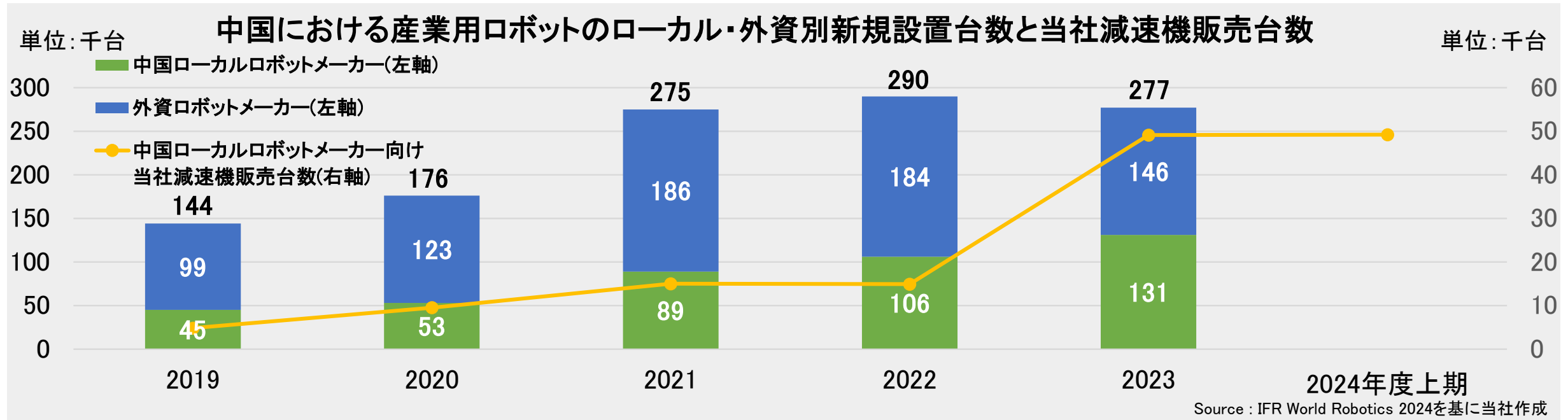
2-2. 中国ロボット市場におけるローカルメーカーの台頭

■ 中国ロボット市場におけるローカルメーカーのシェア

- ・ 人協働型ロボット、小型ロボットローカルメーカーのシェア拡大

■ 中国ローカルロボットメーカーのハイエンド志向拡大

- ・ 廉価版仕様と高信頼性仕様の二極化が加速
- ・ 当社市場シェアは明確に上昇傾向



2-3. 半導体製造装置、車載

半導体製造装置

■ 当社半導体関連のお客様の動き出しは改善傾向にあるが、回復基調は緩やか

- ・サーバー用AI半導体向けの半導体製造装置は好調
- ・パワー半導体、車載半導体向けは一服感が継続
- ・メモリー向けは2025年以降の投資に期待



車載

■ 日系完成車メーカーの販売伸び悩み影響を、新車種への搭載拡大でカバー

- ・中国における販売不振
- ・北米では新車種への搭載拡大

3. 新たなアプリケーション

3-1. ヒト型ロボット

AIの進化を受けたヒト型ロボット市場の立ち上がり

- ・人協働型ロボットの進化形として作業現場におけるニーズは確認された
- ・複数のベンチャーに対して、プロトタイプ製品の提供を継続
- ・一部には量産フェーズの導入開始

- ・本格的ヒト型ロボット誕生にはカメラやセンサー類のもたらず膨大な情報を処理し、自律動作として実現させるためのAI, GAIの開発にしばらく時間を要す

<次なる成長ドライバーであることに変わりはない>



<当社対応>

個々の案件の動作設計に対し当社の開発能力をフルに提供する一方、量産フェーズ時の体制切替えを見据えながら、タイムリーに必要な設備投資は実行していく

3-2. 航空・宇宙

2026年度売上高目標：30億円以上(2023年度実績の2倍以上)

➤ 光衛星通信

- ・光衛星通信とはレーザー光を使って人工衛星間や地上との間で通信を行う技術
- ・当社グループ製品がTESAT社の光衛星通信の端末に採用
- ・宇宙空間における高精度・長寿命が評価



提供：Tesat-Spacecom GmbH & Co.KG様

➤ eVTOL(電動垂直離着陸機)

- ・お客様は商業運航の早期実現のため、生産能力の増強と国際認証取得に向けた準備を進める
- ・お客様の商業運航開始に向けて当社グループはeVTOL向け減速機の量産準備に着手



3-3. モビリティ

➤ Lean Mobility

- ・都市型小型EV
- ・最先端のセンシングと制御技術により、安全で爽快な運転を実現
- ・車両の傾きを最適に制御しながら走行するアクティブブリーン技術に当社製品を採用
- ・2025年より量産化



提供：Lean Mobility株式会社様

4. 2024年度の取り組み

4-1. 収益性を重視した全事業の持続的な成長

重点施策

- ・次世代用途に適合した新技術・新技能の創出
 - 高機能アクチュエーター、高トルク、扁平、小型
- ・価格転嫁: 経営トップ主導の値上げ交渉開始

重点施策

- ・新たな全社的コスト革新PJの発足
 - 低コストを実現する製造方法への挑戦
 - 調達先の拡大と品質とコストの見極め
 - 組立に限定した海外生産の規模拡大 (中国含むアジア)

EBITDAマージン25%以上

研究開発費
5%

↓ ダウン

売上原価+
SG&A
70%以下
(償却費除く)

↑ アップ

営業利益率
15%以上

減価償却費
10%

↑ アップ

売上高
100%

4-2. 新製品リリース

高付加価値メカトロニクス製品の強化・拡大

➤ ACサーボドライバ HA-900Aシリーズ

- ・HA-800Aシリーズ後継機(上位互換)
- ・位置制御性能:2.5倍(当社比)
- ・利便性の向上:専用ユーティリティソフト
- ・カスタマイズ性の向上:お客様要求仕様に対応可能

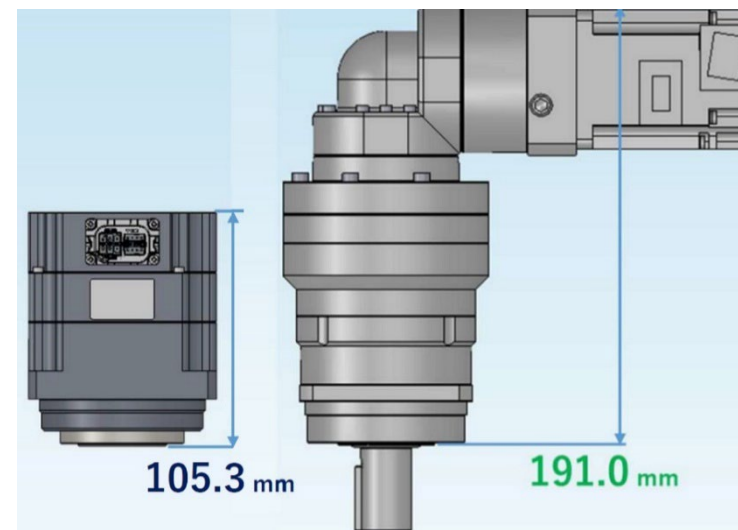


新・旧アクチュエータ

HA-900シリーズ

➤ 精密遊星減速機タイプサーボアクチュエータ

- ・直行軸遊星+サーボモータに対する優位性
 - 高性能
 - 低損失
 - 省スペース
 - 収益性向上



開発中製品(左)と他社製品との比較 34

4-3. 非財務情報:HDS REPORT 2024(統合報告書)

I HDS REPORT 2024 の注目トピックス

1 新社長、新会長の就任

新社長と新会長のご挨拶では、長年受け継がれてきた「経営理念」と、新たに掲げた「長期ビジョン」に込めた意志をお伝えします。

ご挨拶 P.03

HDSグループを率いる新社長として、長期ビジョン・中期経営計画の実現に向けた想いや戦略を語ります。

トップメッセージ P.13



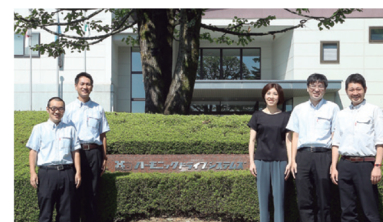
2 2024-2026中期経営計画始動

新たな経営体制のもと始動した「2024-2026中期経営計画」の概要をご説明します。

2024-2026中期経営計画 P.27

当社グループの未来を担う次世代リーダーたちが集い、中期経営計画、長期ビジョンの実現に向けた現場の取り組み、課題を語り合います。

【特集1】次世代リーダー座談会 P.56



3 HDSグループを深く知る「海外グループ会社のトップメッセージ」

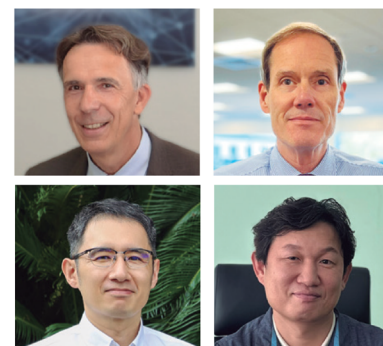
HDSグループのグローバルネットワークの中核である海外グループ4社のトップが、各社独自のビジョン・戦略・強みを語ります。

Harmonic Drive SE (ドイツ) トップメッセージ P.37

Harmonic Drive L.L.C. (米国) トップメッセージ .. P.38

哈默纳科(上海)商贸有限公司(中国)・三益ADM(韓国)

トップメッセージ P.39



4 社外取締役・社外監査役からの「HDSグループの持続的成長に向けた期待と課題」

HDSグループの持続的成長に向けた事業戦略、内部統制やガバナンス強化に関する課題や期待について、社外取締役と社外監査役が率直に意見を交わします。また、2024年3月に設置した指名・報酬諮問委員会(任意)の役割について語ります。

【特集2】社外役員座談会 P.69





Harmonic Drive Systems Inc.

株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ

2024年度イベント

4月：「第38回ハーモニックコンサート」を開催

5月：Robotics Summit 2024 (ボストン)にスポンサーとして協賛

5月：「第22回ハーモニック講演会」を開催

5月：「47th Aerospace Mechanisms Symposium」で
JAXAとの共同研究を発表

6月：信州安曇野ハーフマラソンにゴールドパートナーとして協賛

7月：SMC、THK、当社で3社メカトロニクス展開催

7月：Farnborough International Airshowに出展

